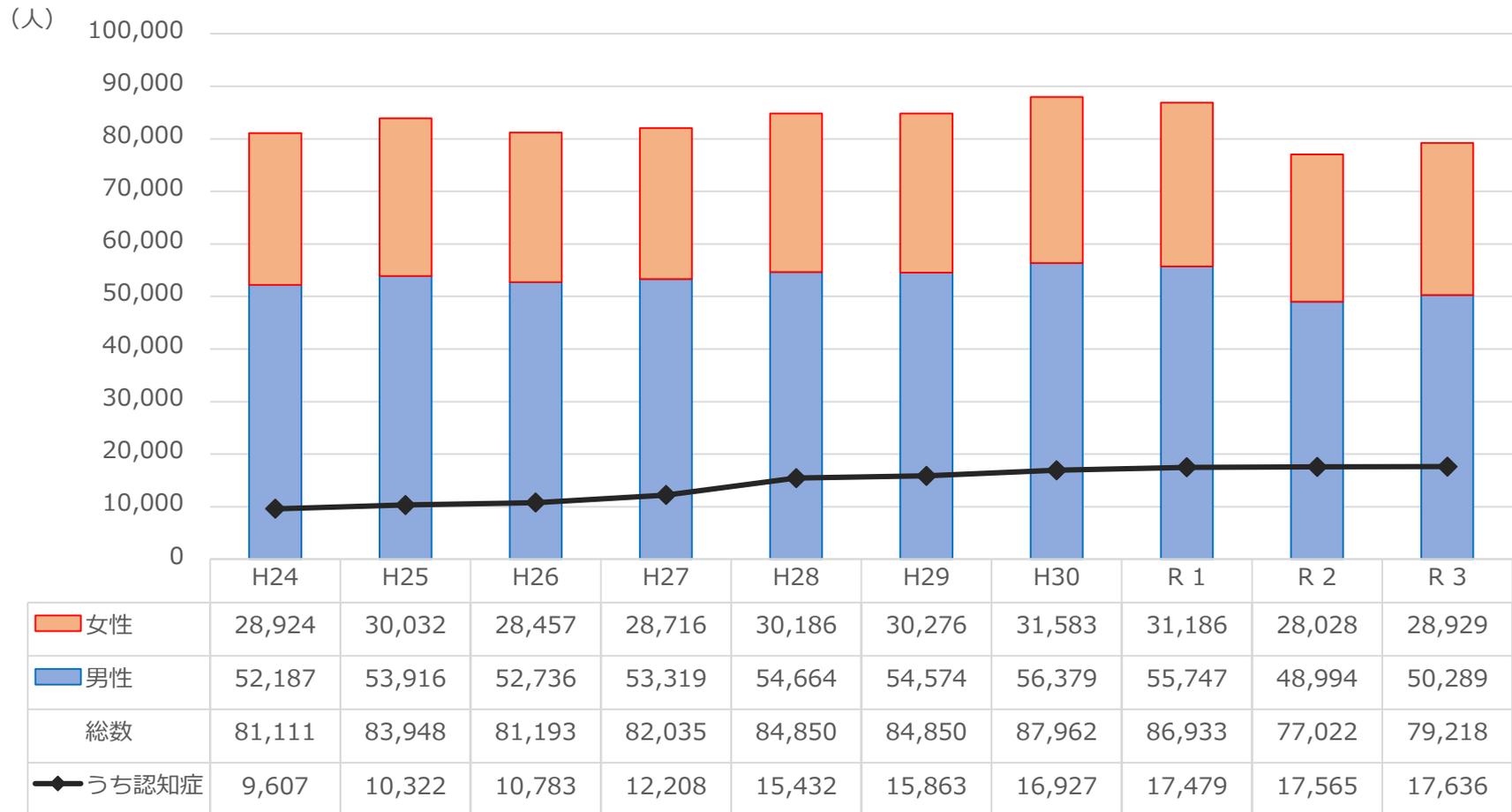


1 行方不明者数の推移

- ・令和3年の行方不明者数は、統計上、最少を記録した令和2年に次いで少ない。



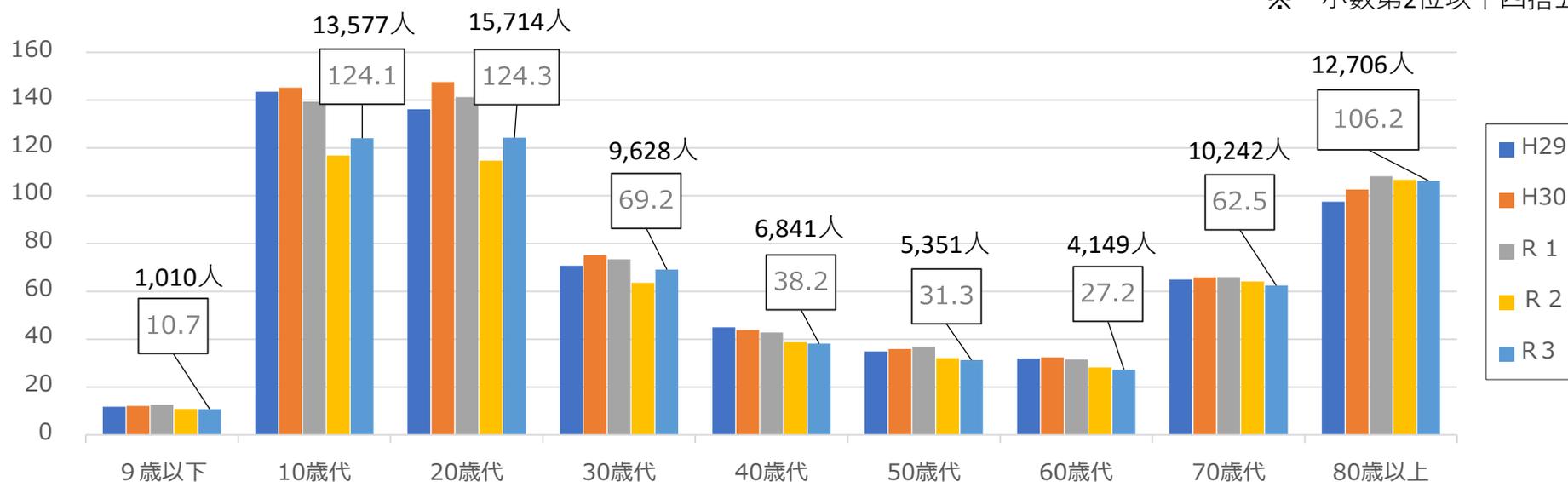
[注記]

- 1 行方不明者数は、警察に行方不明者届が出された者の数であり、延べ人数。
- 2 認知症は、行方不明者届受理時に届出人から、認知症又はその疑いにより行方不明になった旨の申出のあったもの。

2 行方不明者数の年齢層別推移、原因・動機別割合

人口10万人当たりの推移

※ 小数第2位以下四捨五入



原因・動機別割合 (令和3年中)

※ 原因・動機は、行方不明者届受理時に届出人から申出のあったものを計上。

年代 動機	9歳以下		10代		20代		30代		40代		50代		60代		70代		80歳以上	
	割合	割合	割合															
1	家庭関係	35.5%	家庭関係	37.5%	事業職業	27.0%	事業職業	25.1%	家庭関係	17.4%	疾病 (認知症以外)	17.5%	認知症	22.0%	認知症	65.5%	認知症	77.9%
2	疾病 (認知症以外)	4.1%	学業関係	10.4%	家庭関係	12.6%	家庭関係	14.7%	疾病 (認知症以外)	16.1%	家庭関係	15.8%	疾病 (認知症以外)	14.3%	家庭関係	6.2%	家庭関係	3.2%
3	学業関係	3.0%	疾病 (認知症以外)	3.9%	疾病 (認知症以外)	5.7%	疾病 (認知症以外)	10.2%	事業職業	14.0%	事業職業	10.8%	家庭関係	12.2%	疾病 (認知症以外)	4.0%	疾病 (認知症以外)	1.5%

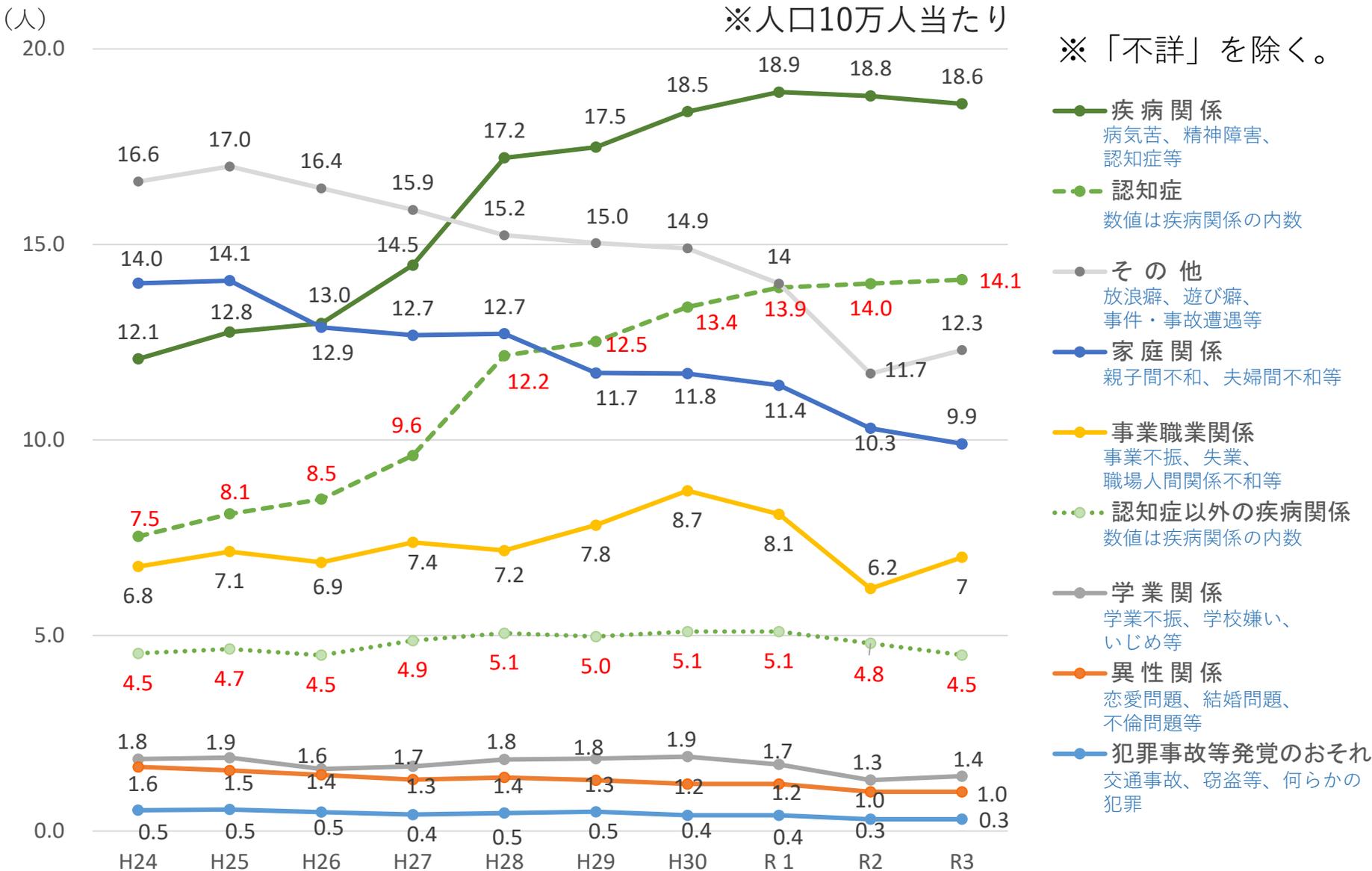
※ その他、不詳を除く。

※ 原因動機別の定義は次項のとおり。

3 行方不明者数の原因・動機別推移

・認知症は平成24年以降、年々増加。

※ 原因・動機は、行方不明者届受理時に届出人から申出のあったものを計上。



4 行方不明者の所在確認等の状況

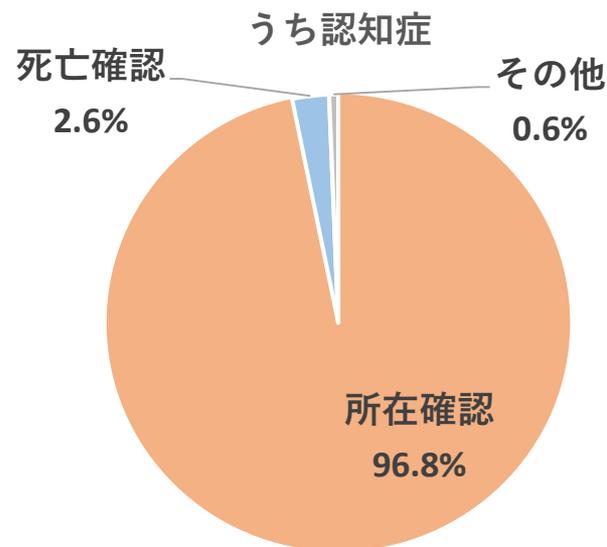
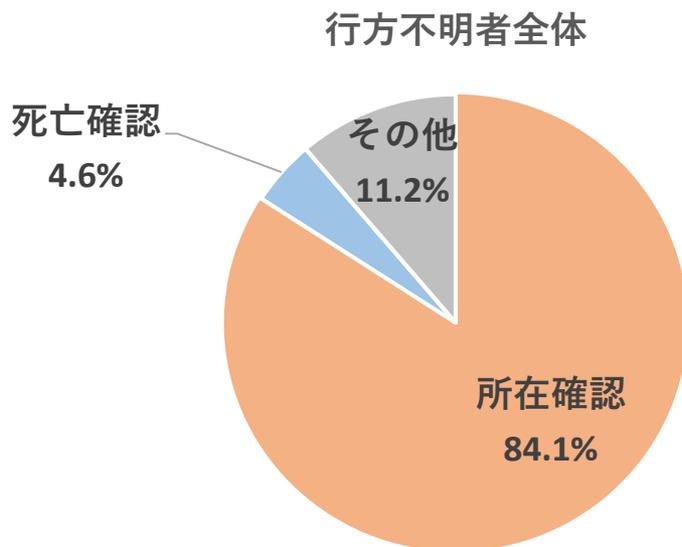
	令和3年中の 所在確認等の総数	所在確認		死亡確認		その他	
			構成比		構成比		構成比
行方不明者全体	78,024	65,657	84.1%	3,613	4.6%	8,754	11.2%
うち認知症	17,538	16,977	96.8%	450	2.6%	111	0.6%

※ 小数第2位以下四捨五入

所在確認・・・警察又は届出人等において所在が確認されたもの

死亡確認・・・警察において死亡が確認されたもの

その他・・・届出が取り下げられたもの等



5 所在確認された行方不明者の所在確認までの期間(令和3年中)

- ・ 認知症行方不明者は受理当日に7割以上、1週間以内に約99%が所在確認されるなど、行方不明者全体と比較して早期に所在確認。

	所在確認の総数	受理当日	2日～7日	8日～14日	15日～1か月	1か月～3か月	3か月～6か月	6か月～1年	1年～2年	2年以上
行方不明者全体	65,657	33,650 (51.3%)	21,097 (32.1%)	1,966 (3.0%)	1,577 (2.4%)	2,030 (3.1%)	1,139 (1.7%)	1,093 (1.7%)	1,064 (1.6%)	2,041 (3.1%)
うち 認知症	16,977	12,540 (73.9%)	4,337 (25.5%)	35 (0.2%)	18 (0.1%)	22 (0.1%)	8 (0.1未満)	7 (0.1未満)	6 (0.1未満)	4 (0.1未満)

※ 死亡確認、その他は含まない。
 ※ 小数第2位以下四捨五入

所在確認された者の累積比率

